

童

2024年3月1日。

春が足踏みしている状態のような毎日です。2月中旬には、このまま春がすんなりやって来そうでしたが、このところぐずついた天気が続き、再び雪景色が戻ったり、雨が降ったり、冷え込んだりして、気まぐれな日々が続いています。

それでも、子どもたちの雪遊びは停車すること無く、毎日雪とふれあい、特にスロープでのソリ滑りのテクニックの上達ぶりは目を見張ります。安心して見ていられます。リュージュなどの将来のオリンピック選手が誕生するのではないのでしょうか。そう言えば、親子雪遊びのソリ遊びのイメージが深く焼き付いているのかもしれませんがね。スロープのジャンプ台は、まだまだ活躍してほしいものです。

また、ほぼ一週間に一度は、子どもたちと作って食べて楽しんでいる給食。青ちゃんの釣ってきた巨大な12キロもあるブリを、目の前で、子どもたちにとって魅力的な刀のような包丁で、さばいて刺身にしていく板前さん（藤田父）の姿。ブリ大根と子どもたちの炊いたご飯。次は パン給食。自分たちで捏ねて、自分の好きな形のパンを成形し、石窯と大地の2階の薪ストーブオーブンで、見事なパンを焼き上げ、持ち寄り野菜を料理しての豆乳スープ。そして、昨日のきつねうどん。大地の豆腐御用達のでんしょうさんの油揚げ、子どもたちが足で踏み、製麺機で作った、まさに青ちゃんの蕎麦も及ばないほどの色艶そしてこしのある完璧な迄のうどん・・・・・・・・

誤解を怖れずにいえば、はっきり言って大地の給食は、超一流です！！ それも、電気もガスも使わずに、薪だけで子どもたちが産み出す味は、素晴らしいです。素材も調味料も、最高の物を使用していますが、それ以上に、子どもたちの純粋な愛があるからです。大地のたかが給食、されど給食。大地の薄汚いガンガーからは、超一流の美味しい物が産み出されます

この環境 景色 空気の中で、大地の味が、子どもたちの心の特等席に、いずれは 座って輝いて欲しいと願っています。

ラスト3月 去りゆく冬を惜しみながら、春を目指して輝いて行きたいと思います。



【銀河鉄道の父】

先日 宮澤賢治の父親を題材とした映画「銀河鉄道の父」を見た。賢治の妹のトシの看病に、こんなにやく湿布が使われているのを見て衝撃を受けた。昔から使われていたものだったのだと。さすが あなけん！！

それ以上に、トシや賢治の臨終前の衰弱していく姿には、衝撃だった。そのシーンが、その後に・・・・・・・・

思い起こせば、8月の下旬から、お話「世界の果ての井戸」を覚えようと決心し、半年がかりで覚えて楽しみにしていたおはなし会。前日の大雪の夕方、除雪を終えて家に帰ると、珍しく寒く肩が凝り、疲れて炬燵に潜り込んでいると、突然吐き気がして、そして下痢が始まり、そのままダウン。すぐに これが流行の急性胃腸炎か・・・とあれよあれよと、衰弱し、朝までうなされ、そして、下痢垂れ流し。老齢の母親には移せないし、妻は、ピンチヒッターでおはなし会を仕切り直し、青ちゃんは悔やんだり残念がったりする余裕もなく、孤独に トイレや床やマットの始末をしながら、便と奮闘しながら、腹痛と下痢と終日闘っていました。何も食べない代わりに、玄米スープと大地の林檍ジュースだけをひたすら飲んで、翌々朝には、奇跡的にほぼ復帰！！ 根性で、年長児のキャンプには、奇跡の生還を果たしました

このことと宮澤賢治がどう関係しているのかと言うと。

下痢をしている最盛期に、ほぼ身体を動かさず気力も体力もなく、垂れ流しに近い自分を見ると、あの映画の臨終の姿と一致する自分をイメージしたのです。人間は、最後を迎えるときこんな風になるのだろうか。このまま、自分も亡くなっていくのだろうか。まだまだやり残していることがあるのに。やはり、元気にいる時は、何でもやっておかねば・・・ と後悔をしている自分。元気になったら、何でもまだまだやるぞ と まるで死と隣り合っているような自分を自覚するほど 苦しい1日でした。久しぶりに、七転八倒した瞬間でした。

不思議に熱が39度近くあるのに、その自覚がないので、便で汚れている身体をちょっと綺麗にしようとお風呂につき、すっきりしたと良い気分で湯船から上がった瞬間に、意識が飛んで洗い場でぶっ倒れて転倒。気がついたら、そこで便を垂れ流している自分。何とか始末をして、脱衣所に来たらそこでも再び転倒。絨毯に再び垂れ流している自分。這うようにして出てきて、そのまま横になり眠った自分。

腹痛や高熱やあちこちの痛みなど、過去の大きな怪我を経験しているので、ほぼ我慢はできるのですが、下痢して便を垂れ流しにするほどの場面では、痛みなど以上に精神的に落ち込みました。身体の機能を制御できない自分に絶望感を味わいました。

翌々日には、復帰している自覚があったので、布団干し シーツ類の洗濯、絨毯の取り替えなどをしながら、玄米スープ 林檍ジュース 梅肉エキス おかゆ で身体を慣れさせて 復帰に向かって助走していきました。本当に、久しぶりに 絶望的な苦しみを味わいました。どん底に落ちて、絶対どうにかする、大丈夫 やり遂げる と日頃から豪語している自分も、さすがに 予定されていたおはなし会の前夜は完全に諦めるというよりその自覚もないまま、当日の朝を迎え、それでも 妻に 何とか行こうかな と伝えたところ、皆にうつすから駄目だと一蹴。下痢さえなければ、行けたのですが、さすがに 垂れ流しの自分を自覚すると、とんでもない事でした。そんな訳で、全く後悔もせずに、ひたすら、トイレとベッドを往復していました。

インターネットのお陰で、自分の症状は、医者に行かなくても 2, 3 日で治るということが、ほぼ理解できていたのですが、ひたすら時間が過ぎるのを待っていたわけですが、衰弱するというのは、本当に死を意識します。遭難でも事故でも災害でも、弱っていく自分を意識する事は、かなり精神的に落ち込みます。精神は悪い方に悪い方に陥っていきますが、今回は、2 日我慢すれば大丈夫という意識があったから良かったですが、一番苦しいときは、やはり 切なかったですね。しかも、ひとりぼっち（母親には、一切接触しないように伝えておきましたから）は、やはりきついです。

銀河鉄道の父 で観た臨終を迎える場面から、今回のドラマが始まっていたのかもしれませんが。でも、その後の身体の調子は最高でした。断食後のように、身体のお掃除を出し、宿便を出したと思えば、よい機会だったことかもしれません。今回のタイミングは、本当にズバリその日にドンピシャで当たってしまいましたが、仕組みされていた意味のあることだったのですね。全ての起こりうることは、その人にベストの意味でタイミングよくやってくるのです。

伏している中で、この汚れた身体を温泉でゆっくり洗い流したいと夢うつつの中で、いつの間にか温泉宿を予約していました。ほぼ、無意識の中で。当日は、ゆっくりと温泉保養と意気込んでいきましたが、やはり、これには、一筋縄内はいかないドラマがありました。だから、我が人生は面白いですね。